

価値創造プロセス

キャノングループは、時代とともに変化する「社会の動き」を捉えながら、企業理念「共生」のもと、人間尊重、技術優先、進取の気性といった「企業DNA」と、自社の強固な財務基盤や豊富な人材、高い技術力など、さまざまな「リソース」を有効に活用し、また、健全な「コーポレート・ガバナンス」を保ちながら、「共生」の実現をめざして、事業を展開してきました。

これからも、中長期経営計画「グローバル優良企業グループ構想フェーズVI(2021年～2025年)」のもと、重要課題(マテリアリティ)を軸にさまざまな活動を展開していきます。そして、「安心」「安全」「快適」「豊か」に暮らせるレジリエントで持続可能な社会の実現に向け、さまざまな価値を生み出し、世界がめざすSDGsの達成やCO₂ゼロ社会の実現に技術や製品、ソリューションサービスを通じて貢献していきます。

社会の動き

- 技術進化と効率向上
- 人口増加と高齢化
- 安心・安全の多様化
- 社会・環境課題の顕在化
 - SDGs(持続可能な開発目標)
 - 気候変動
 - 資源制約
 - 人権侵害/労働問題の深刻化
 - 持続可能なサプライチェーン
- 感染症の流行、パンデミックの経済、サプライチェーンへの影響
- ライフスタイル、ワークスタイルの変化

ビジネスユニット

- プリンティング(→P15～16)
- イメージング(→P17～18)
- メディカル(→P19～20)
- インダストリアル(→P21～22)

コーポレート・ガバナンス

- ガバナンス体制(→P99～103)
- リスクマネジメント(→P104～109)

リソース

- 財務基盤
- グローバルな事業展開
- 豊富な人材
- 高い技術力

企業DNA

- 人間尊重
- 技術優先
- 進取の気性

企業理念 共生

共生 の実現

SDGs
(2030年)

CO₂ゼロ
(2050年)

安心

安全

快適

豊かさ

- プリントニーズの多様化への支援 (→P15～16)
- 映像による安全で快適な社会の実現 (→P17～18)
- 人々の健康と安心な生活への貢献 (→P19～20)
- 産業機器事業を通じた社会インフラ構築への貢献 (→P21～22)
- 低炭素社会の実現 (→P53～56)
- 資源循環型社会の実現 (→P57～61)
- 従業員一人ひとりの権利を尊重した職場づくり (→P67～80)
- 製品の安全性確保と使いやすさ向上 (→P81～86)
- 地域社会の持続的な発展への貢献 (→P87～90)

マテリアリティ

- 新たな価値創造、社会課題の解決 (→P31～32)
- 地球環境の保護・保全 (→P33～35、P45～66)
- 人と社会への配慮 (→P36～38、P67～90)

グローバル優良企業グループ構想
フェーズVI (2021年～2025年)

価値の還流

- 社会やキャノングループへのフィードバック
- 自社の役割の再認識
- 自らの変革によるさらなる貢献